

津奈木中学校での出来事

－卒業ミニバイキング&体育館落成式－

中学校体育館落成式開催！



旧体育館が築50年を迎え、老朽化が進んでいたため、昨年5月から改築工事を行っていた中学校体育館がこのたび完成。3月10日、中学校体育館落成式が開催されました。式典で西川町長が「この体育館で心身ともに鍛え、スポーツに勉強に励んでください。」と挨拶しました。新体育館は床面積959㎡と旧体育館より1.6倍の広さ。また、外壁に窓ガラスが多いため、館内は差し込む光によりとても明るく感じられます。

また、3月14日には、この新しい体育館で最初の卒業式が行われました。

給食バイキングで思い出づくり



3月7日、中学校で「卒業ミニバイキング」が行われました。これは、卒業記念の思い出づくりに、また、会食マナーの習得とバランスよく食べることの大切さや自分の必要な量を知ってもらうことを目的に教育委員会と給食センターが主催したもので、今年で11回目となります。

この日のメニューは煮込みミートボールやえびと野菜の包み蒸しなどを主菜に、メロントーストやカレーピラフおにぎり、アスパラサラダ、スイートスプリングなど豪華なメニュー。この日を心待ちにしていた生徒たちは、自分の皿によそったり、友達にもついであげたりと、楽しそうに料理をとっていました。

心を込めた贈り物を届けました



3月16日、津奈木校区と平国校区の婦人会が、一人暮らしの老人の方に、できたてのおいしい「お彼岸だんご」を届けました。これは、婦人会が毎年、春と秋の彼岸の時期に合わせて行なっているもので、もう20年以上も続けているそうです。参加者は「お年寄りの方々の喜んでくださる顔を思い浮かべながら、一つ一つ心を込めて作っています。」と丁寧にだんごを丸めていました。

「じゃこ飯弁当」が新名物弁当に認定！

3月4日、水俣市役所で水俣・芦北地域の新たな「名物弁当」3品の完成発表会があり、本町の事業所「とれびあん」の津々木すす子さんが出席、「水俣芦北地域名物弁当認定証書」を受け取りました。これは、みなまた観光物産協会が九州新幹線の全線開業に向け昨年6月から取り組んできたもので、水俣芦北管内の事業所から公募された15品の中から選考された3品が、ホテル熊本テルサ総支配人の土山憲幸氏の指導を受け市販向け改良されてきたものです。そのうちの1品である本町とれびあんの「じゃこ飯弁当」（税込800円）は、じゃこの炊き込みご飯や地元野菜の煮物などを詰め合わせた、地域の食材を生かしたヘルシー弁当です。ぜひご賞味を！

→「とれびあん」の津々木すす子さん（写真左から2番目）とじゃこ飯弁当

